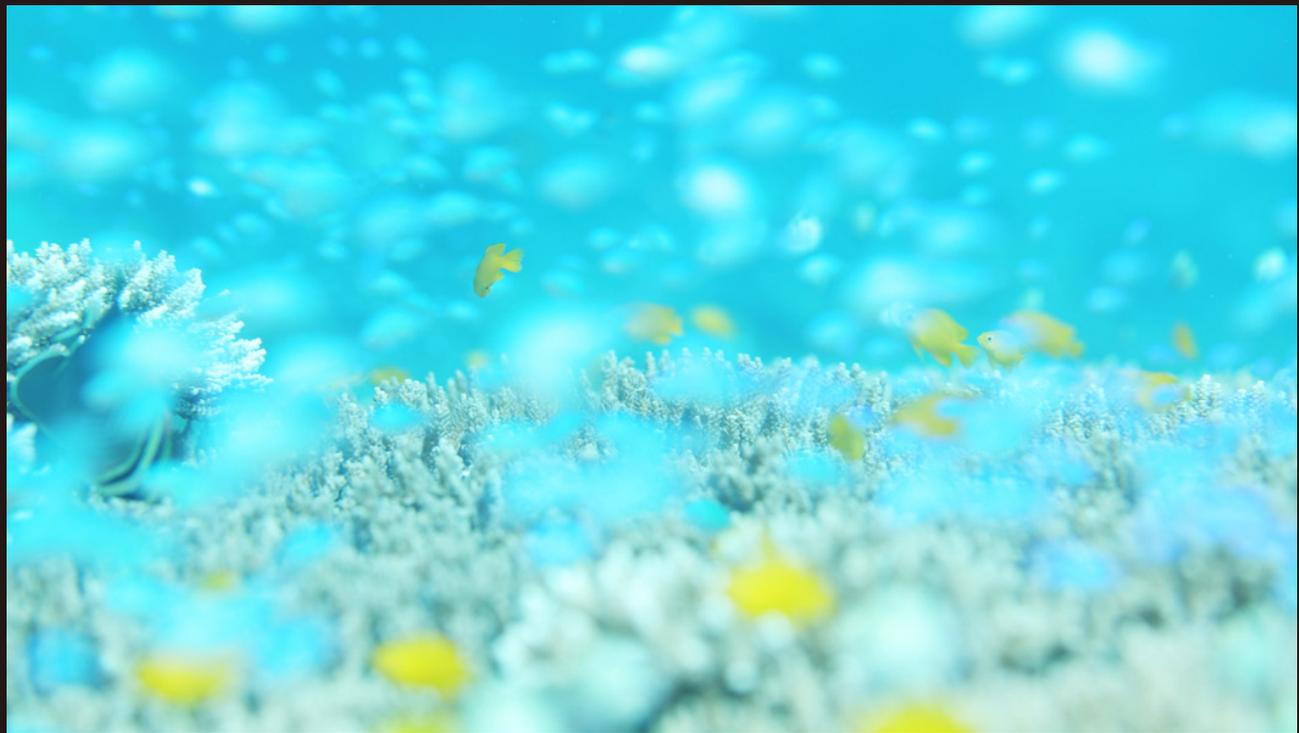


SORA

web magazine 2014.nov. vol.44



Philippines Photo & Text : Yasuaki Kagii

Moalboal

モアルボアルって、すごいですよ! [MAP CLICK!](#)

フィリピン・セブ島にある田舎町のモアルボアル。昔からヨーロッパのダイバーに人気の高いエリアで、フィリピンのリゾート地だけど、少し気の利いたレストランやバーがあるちょっと素敵な雰囲気。海の中もちろん素晴らしく、なかなか他でもお目に掛かれない水中シーンにも遭遇できる。さて、その景色とは？



S 驚き Surprise

Philippines モアルボアル
Moalboal

これ、何だかわかりますか？

S^{驚き}urprise

実は、イワシのトルネード！
こんなダイビングを経験したことない！

今回お世話になった現地サービスのチキチキダイバーズのハウスリーフの延長で、ものすごい海中景色に会える。この黒く見える塊はなんとイワシの群れ、群れ、群れ！それは、まるでひとつの生き物のように海いっぱいに広がり、蛇行し、蠢く。また、塊の中に何本もの細い線が生まれると、まるで竜巻のようにも見える。ずっと眺めていると、どんどんイメージは膨らみ、これまでのダイビングとは違った経験ができる。迫力はもちろんのこと、この景色のすごいところは、遠いポイントではないということ。チキチキダイバーズのボート乗り場からボートに乗って、すぐのところ。チキチキダイバーズの並びのリゾート前というのが、これまたすごい。お手軽に未知の体験ゾーンにエントリーできる。また、このイワシの群れにニタリザメやイソマグロがアタックしてくることがあると言う。是非、そんな興奮&幸運の一瞬に立ち会ってみたい。



驚き Surprise



驚きの連続!

オスロブにジンベイザメに会いに行く!

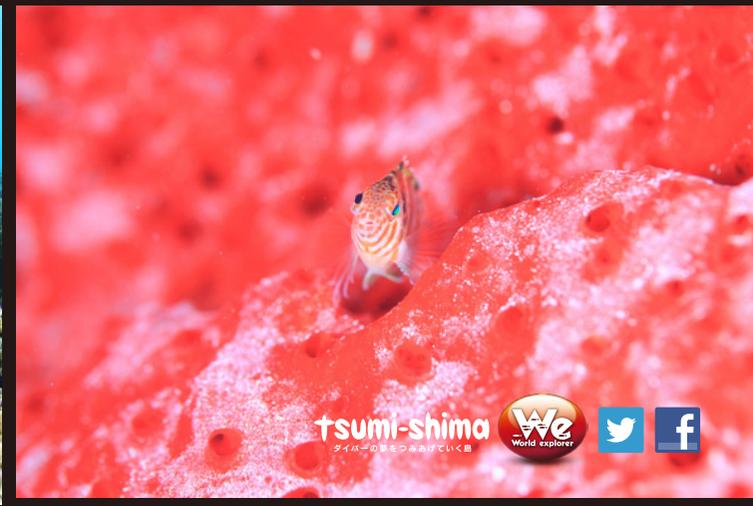
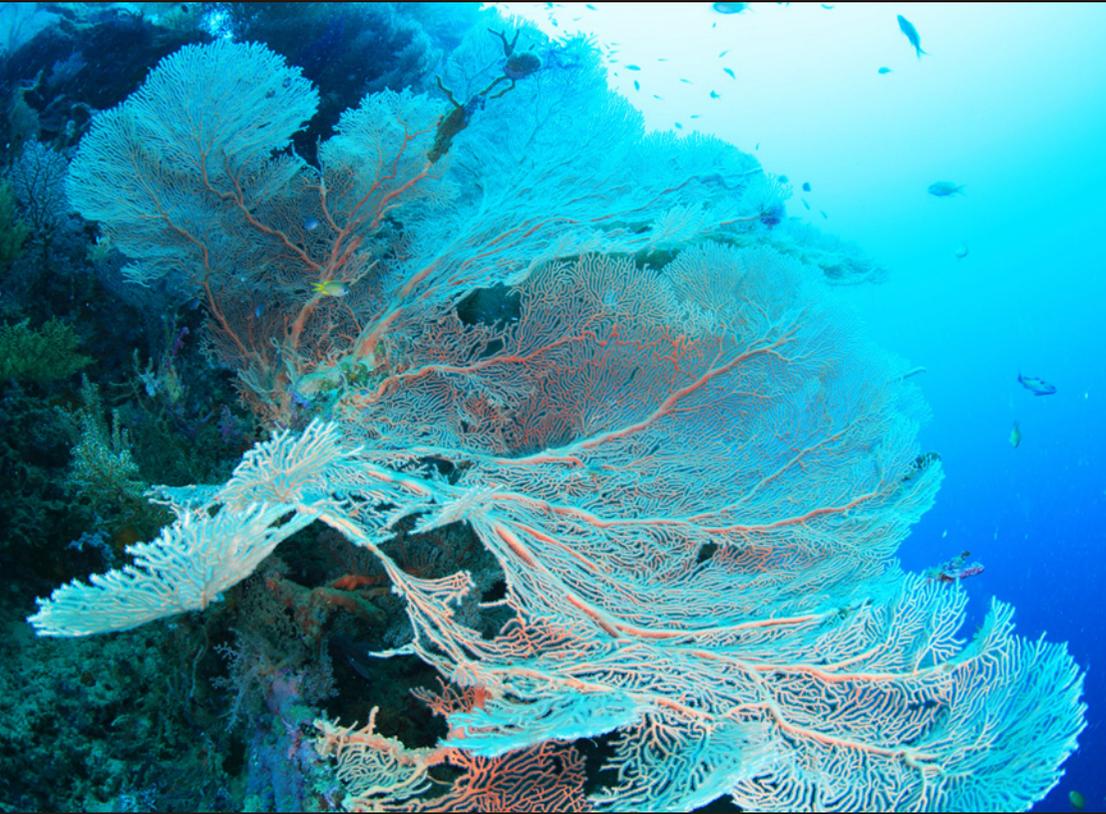
モアルポアルからオスロブへジンベイザメに会いに行くツアーが開催されている。オスロブの餌付けジンベイザメは、もうすっかりお馴染みになっていて、フィリピンはもとより世界中からたくさんの方がやってくる。アプローチの方法は、ダイビングだけでなく、スノーケリングも可能なので、より気軽に世界最大の魚類と水中でご対面できる。バンカーボートに乗った漁師さんに餌付けされたジンベイザメは大人しく、まるで飼われた犬のよう。だから水中でゆっくり観察することができる。私の想像以上に「楽しかった!」というゲストも多く、これもひとつの時代かな?と思っている。モアルポアルから、オスロブまで車で約1時間30分。早朝6時から餌付けが始まるので、なるべく早く現地に着くスケジュール。早朝5時に出発して、60分の1ダイブを行い、モアルポアルのダイビングセンターに戻ってきてからも午前1ダイブと午後2ダイブが可能で、その日は全く違ったダイブを楽しむことができる。



Ocean

チキチキダイバーズからダイビングに行くポイントは、3つのエリアに大別される。大きくペスカドール、南の砂地、ゴビーポイント、南北のサンクチャリのサンゴポイント、北部のポイント。グローブも禁止、指示棒も禁止、中性浮力、モアルボアルのルール。

Philippines モアルボアル
Moalboal



Ocean



Philippines モアルボアル Moalboal

沖合に浮かぶ素敵なお魚の名前の島・ペスカドール！

ヨーロッパでは魚人島の意でペスカドール Pescadores という。モアルボアルの代表的なダイビングポイントにもなっているペスカドール島は、沖合にあり、ボートでの所要時間は12~20分ほど。浅瀬の棚から豊かなサンゴ礁が広がる島で、主にサウス、カテドラル、イーストに分けられる。サウスは、ドロップオフになっている辺りには、赤紫色のパープルビューティーが乱舞している。進めばどんどん増えていく感じで、海の中から溢れてくる感じ。途中にメラネシアン・アンティアスの群れと二重奏になる場所もある。以前は、このペスカドール島周辺にイワシの大群が居たが、姿を消してから、カブラヤスズメダイが量を増や

した。鮮やかなお魚ではないけれど、シルエットで眺めたりするとこれまた美しい。カテドラルはセブ島でも珍しい地形ポイントで、水深27mの海底から見上げる光と影が印象的だ。サンゴ、魚影、地形も楽しめる美しい名前のペスカドールでいつか魚人（人魚）にも会ってみたい……想像通りの美しさだったら（笑）。また、豊かなサンゴ礁やドロップオフ、ケープのカテドラルなどには様々な生き物との対面もできる。ハナダイ系のフトドリハナダイ、スミレナガハナダイ、スジハナダイなど。暗がりでは、シモフリタナバタウオの仲間やベニハゼSP、ナミハタ、スジハナダイなどの姿も！



Ocean

チキチキダイバーズの前にある、 南北に広がる豊かなサンゴ礁を潜る

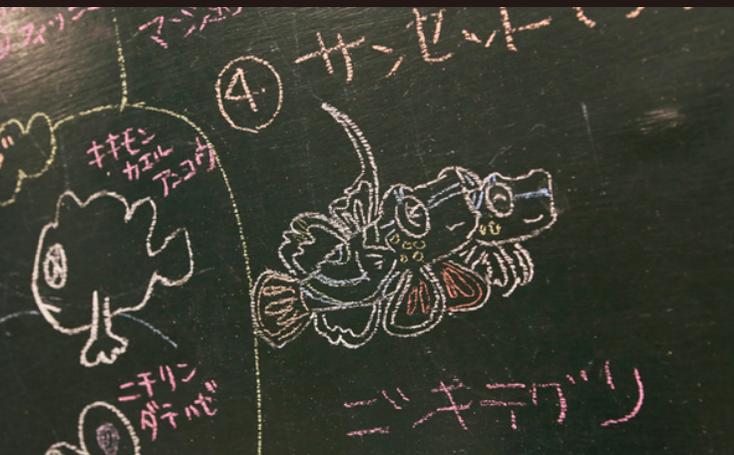
Philippines モアルボアル
Moalboal

イワシの大群がいるチキチキダイバーズがある海岸線には南北に豊かなサンゴ礁のリーフが広がっている。このリーフに点在するポイントは、ショートレンジに当たり、一番身近なポイントとして親しまれている。サンクチャリなどのポイントは、魚がわしゃわしゃとして、ミルクフィッシュ（サバヒー）、イズズミ、ボラ、テンジクイサキ、ムズジコショウダイ、ギンガメアジの幼魚が群れ、賑やかな空間を作る。サンゴは南のエリアでは色は少ないが、キャベツコーラル、エダサンゴ、テーブルコーラルなどのたくさんの種類が入り混じる。北のエリアでは、黄色、ピンク、紫などのエダサンゴが群棲し色鮮やかなリーフになっている。ドロップオフでは、穴ほこにアオウミガメがいたり、テールスポットブレニー、イナズマヤッコ、マンジュウイシモチ、ニチリンダテハゼ、ヤマブキハゼなど人気種が多く見られ、春になれば、ニシキヤッコなどの幼魚が特に多く見られる。また個人的に大好きなのが、ソラスズメダイや黄色いイズズメダイが群棲する大きなテーブルサンゴ。この海の優しさを象徴するようお気に入りの景色のひとつだ。



Ocean

Philippines モアルボアル
Moalboal



サンセットダイブはニシキテグリのメイトイング!

ショートレンジのタリサイでは、サンセットダイブでニシキテグリのメイトイングを観察できる。季節や天候によって行われる時間が異なるが、およそ6時過ぎに始められる。ほの暗いライトの光を使用してサンゴの隙間を眺めていると、何やらココソと動くニシキテグりを発見できる。静かに観察していると、サンゴの隙間に何

匹ものニシキテグりを発見。強いライトの光を当てずに見ていると、オスのニシキテグリがメスをエスコートするようにサンゴから離れて上に泳ぎ出す。そして放精抱卵を行うと同時にパッと水中で分れる。生命の誕生に会えた瞬間だ。このサンセットダイブは、毎日、リクエストベースで行われているので、是非!

O 海 cean



Philippines モアルボアル Moalboal

南の砂地の傾斜で
いきものさがし！

南に位置する砂地のポイント「ゴビーポイント」はマクロの生き物がたくさん。傾斜になった地形をゆっくりと探していくと、ブラックベリーゴビー、レッドスポットドワーフゴビー、インドアカタチ、ジョーフィッシュ、ムーンスポットゴビー、テンスの幼魚、ニシキフウライウオ、メガネウオ。オニテングなどたくさんの生き物が見つかる。というか、ガイドさんが見つけてくれる。潮の流れもなく、初級者から安心して、人気種、稀種の観察ができる。また、シルト系のポイントもある、モエギハゼ、ブラックベリーゴビー、アカオビハナダイ、タテキンの幼魚。アオハチハゼ、オニチノハゼなども見られる。



Ocean

Philippines モアルボアル
Moalboal

少し遠出してロングレンジの 「ロンダベイ」や「エアポート」へ！

ショートレンジのサンゴエリアを超えて、更に北に行くと着く「ロンダベイ」。水深20m~30mのドロップオフに直径2m大のウミウチワが数えきれないほど連立している。それはモアルボアルの他のポイントではお目に掛かれない海中景観。そこにネオンテンジクダイが湧く時期もあり、まるで海中でお花見を楽しむことができる。また、北部のエアポートは、漁礁として沈めたセスナが20~23mに鎮座する。セスナ自体に生き物が住みついていたたり、セスナの周辺では、チンアナゴ、ラインフラッシュャー、シテンヤッコ、ハナグロチョウチョウウオ、モンハナシャコ、ナポレオンなどが見られる。これらの北部のポイントは、北風、雨に弱く、5、6月の夏のシーズンはアクセスし易くなる。もし滞在中に行ける可能性があるならば、遠出するのもお薦めだ。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



Rロマンomance

こじんまりとしたモアルボアルは
歩いても楽しい！ そして美味しい！

Philippines モアルボアル
Moalboal



モアルボアルはダイビングポイントが近いために、1日3本ダイブでも午後2時半に終わり、身体も楽々。それからリゾート気分を楽しんだり、町歩きをしながら、少しフィリピンの田舎町を楽しむことができる。モアルボアルは1本の大きな通り沿いにたくさんの店が軒を連ねる。ホテル、ダイビングセンター、レストラン、お土産物、バーなどなど。規模はそれほど大きくなく、こじんまりとしているので、ゆったりした気分で楽しむことができる。モアルボアルにある唯一の2階のお店サンセットは、インドネシア、タイ、フィリピン料理を楽しむことができるお店で、お薦めはガイドさんにも大人気で美味しいタイカレー。イタリアンレストラン・フィリングステーションは、夜6時からオープンで、美味しい石釜ピザが楽しめ、自家製チリソース、ヨーグルトなどもある。リゾート感覚が楽しめるおしゃれな雰囲気が心地よい。そして、リトルコーナーは、フィリピン料理のお店。新鮮なシーフード、お刺身も食べることができる。大盛り料理なので、みんなでワイワイと楽しむのがベスト。わがままも聞いてくれて、例えば、「ハタが食べたい!」とお昼にリクエストすれば、その夜に美味しいハタの料理が! 日本では高級魚も安価で楽しむことができる。またモアルボアルは、外国という認識は必要だけど、夜遊びもできる。翌日のダイビングに差支えない程度にネオンも謳歌したい(笑)。

A 行動 Action

新しくなったチキチキダイバーズに 併設された『ダイバーズロッジ プルメリア』！

モアルボアル・パナグサマビーチの繁華街から少しだけ離れたところにある、静かなダイバーズロッジ。全5部屋でショップに隣接、目の前は海！という最高の立地。『ダイバーが使いやすい施設』をコンセプトにこだわりのデザインを施す。朝は、眩しい光がリゾート内に溢れ、日中は真っ青な海に包まれて、暮時はオレンジ色に染まるダイバーズロッジ プルメリア。南国の緑溢れる空間で、モアルボアルのゆっくりとした休暇を楽しむことができる。



チキチキダイバーズ

リニューアルして、更に快適&リゾート感が増したチキチキダイバーズ。モアルボアル半島の中心に位置するので、広範囲のエリアで潜れ、また、町の中心部にあるので、アフターダイブにも都合が良い。渡部勝行さん、讚井梨沙さん、ユヌス アンドゥンさんを初め、フレンドリーなスタッフが揃う。黒板ログを使用した丁寧なブリーフィング、ダイビング専用のバンカーボート3隻所有。基本は、午前2ダイブ、午後1ダイブ。リクエストベースで早朝、サンセット、ナイトダイブまで、1日6本まで可能。



Philippines モアルボアル Moalboal

